

# ストーブ火災から身を守るには？

住宅用火災警報器は、全ての居室、台所、階段に設置しましょう！

## 住宅用火災警報器により火災の拡大を防いだ火災事例

バスマットを電気ストーブにかけておいたが、何らかの原因でストーブのスイッチが入り、火災となりました。住宅用火災警報器の鳴動により、火災を発見し、119番通報と消火器による初期消火を実施し、火災の拡大を防ぎました。



寝具類やエプロン、カーテンなどは、防災品にしましょう！

## 防災品の寝具類を使っていれば防げたかもしれない火災事例

女性（60代）がベッドの近くで使用していた電気ストーブに、布団等の可燃物が接触し、火災となりました。この火災で、住宅は全焼し、女性は命を落としました。



(防災製品貼付のラベル)

# ストーブ火災を防ぐポイント

- ◆ つけたまま寝ない
- ◆ 周りに物を置かない
- ◆ 布団やカーテン等の近くに置かない
- ◆ ストーブの上や近くで洗濯物を乾かさない
- ◆ 使用中の給油は絶対にしない



問合せ先 東京消防庁秋川消防署警防課防災安全係

電話 042-595-0119 (内線: 320)

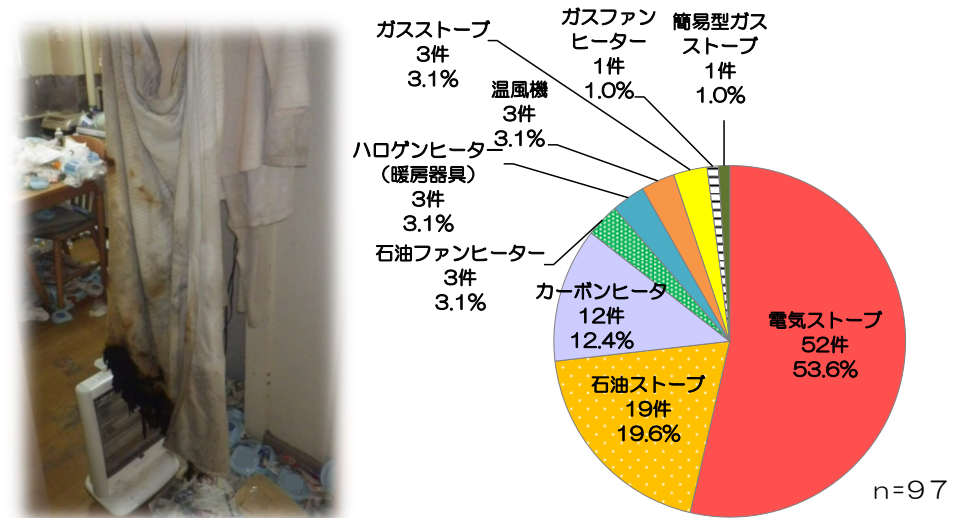
令和元年10月発行

# STOP! ストーブ火災

東京消防庁

## あらゆる器具で発生するストーブ火災

平成30年において東京消防庁管内では、ストーブを出火原因とする住宅火災が97件発生しており、電気ストーブ、石油ストーブ、カーボンヒーター等、様々な器具が原因で火災が起きています。特に**電気ストーブによる火災は、半数以上**と高い割合を占めています。



電気ストーブに洗濯物が接触し焼損した状況

出火原因ストーブの内訳 (平成30年 住宅火災)

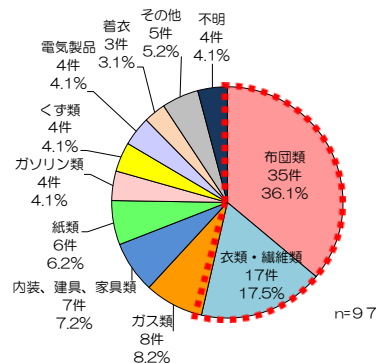
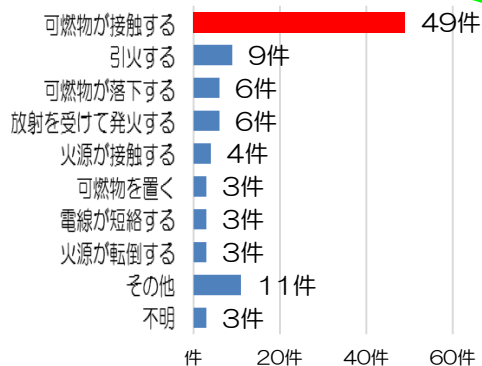


ストーブによる火災の発生状況は次のページをご覧ください。

# ストーブの周りに物を置かない



ストーブ火災の約半数が可燃物が接触することで発生しています。



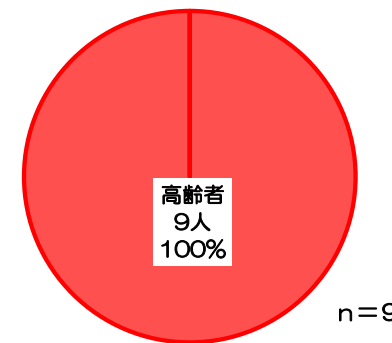
ストーブ火災発生状況 (平成30年 住宅火災)

着火物別火災件数 (平成30年 住宅火災)

ストーブの周りに**布団や衣類**などの可燃物を置かないことで多くの火災を防ぐことができます！

# ストーブ火災による死者の多くが高齢者

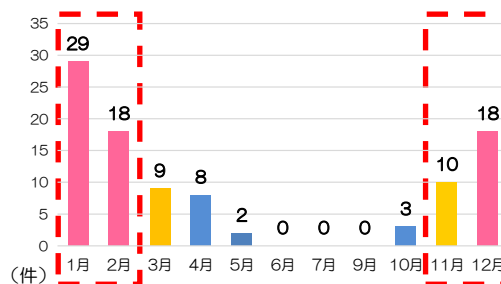
ストーブ火災による死者のすべてが**高齢者**で占めています。



ストーブ火災の死者に占める高齢者の割合 (平成30年 住宅火災)



# 寒い時期を中心に発生！



月別のストーブ火災件数 (平成30年 住宅火災)

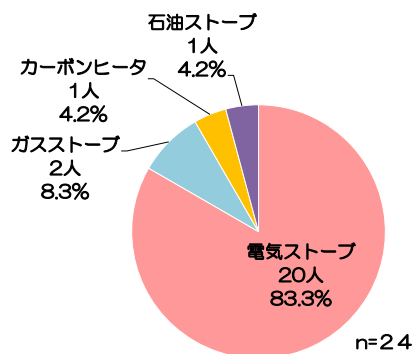
ストーブの火災は、**11月から2月の寒い時期**を中心に発生しています。

また、暖かくなってくる**3月や4月**にも多く発生していることから注意が必要です。

# 油断していませんか？

電気ストーブは手軽で安全？

ストーブ火災の出火原因うち**火災件数・死者数**ともに**最も多い**出火原因が、**電気ストーブ**です。



過去3年(平成28年から平成30年)のストーブ火災による死者発生状況

# 電気ストーブ火災を防ぐポイント！

- ◆ 燃えやすい物を近くに置かない
- ◆ つけたまま外出、就寝しない
- ◆ 使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く
- ◆ 電源プラグやコンセントの清掃・点検をする

